

(様式 1-3)

檜葉町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 29 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	9	事業名	復興道路整備事業（町道権現下・浜街道線）	事業番号	D-1-1
交付団体		檜葉町	事業実施主体（直接/間接）	檜葉町（直接）	
総交付対象事業費		96,601（千円）	全体事業費	145,111（千円）	
事業概要					
東日本大震災により津波被災を受け北田地区において、当地区の避難路として、町道権現下・浜街道線の拡幅を実施するもの。 当地区は、津波被害を受けた住民が現地再建をすることから、津波から生命を守るために一番重要な高台の避難場所へ通じる避難路の整備が必要であり、町道を拡幅し高台に通じる県道広野小高線に接続させるもの。 また、同地区を流れる木戸川は、鮭が遡上する川で有名であり、毎年遡上期には木戸川沿いに多くの観光客が訪れる地区でもあり、町の復興とともに回復する観光客を安全に避難させるためにも整備が必要である。 L=381.1m W=5.5(7.0)m 【檜葉町復興計画第二次第二版】 第三章 3-2（1）②津波避難ルートの指定・整備 （事業間流用による経費の変更）（平成 29 年 5 月） 平成 29 年度事業費分として、F-2-1-1 市街地復興効果促進事業より、46,994 千円（国費：H25 復興庁繰越分[当初]予算 37,595 千円）を流用。これにより、対象事業費は 96,601 千円（国費：74,865 千円）から 145,111 千円（国費：112,460 千円）に増額。					
当面の事業概要					
＜平成 25 年度＞調査・測量・設計 ＜平成 26 年度＞移転補償・用地買収・工事 ＜平成 27 年度～平成 29 年度＞工事					
東日本大震災の被害との関係					
推定で 10.5m の高さの津波が計画区域である沿岸部を襲い、住宅地や水田など約 2.87km² が浸水し、多くの死者と沿岸の住宅に壊滅的な被害が発生した。また、木戸川沿いは高台へ直接通じる道路がないため、今後の地域住民、観光客等が安全に避難できる避難路の整備が必要である。 津波による流出・損壊戸数：98 戸					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	